

## 事業協働機関との連携強化事業（先進地研修等）

### 第一次産業の六次産業化支援のための基礎的調査・研修

#### プロジェクトメンバー

熊本県立大学 地域活力創生センター センター長・松添直隆

連携機関 熊本大、熊本学園大、崇城大、東海大、尚絅大、九州看護福祉大、熊本高専 等

#### プロジェクトの概要・目的

平成28年度に実施した先進地研修等は3つのパターンに大別される。

- (1) COC+事業を推進するうえで先進的な取組をしている地域・大学等を対象とする研修。
- (2) 第1次産業の競争力強化と6次産業化を支援する際に必要となる知見を得るための研修。
- (3) COC+事業に関するテーマで開催されるシンポジウム等への参加。

これらはいずれもCOC+事業をよりの確かつ最大の効果をもたらすものにするために、また、COC+事業に取り組む全国の大学とのネットワークづくりのためにも必要な業務であった。

#### 活動内容と成果・効果

上記の3パターンについて主要なもの（一部）を列挙する。

(1) について。

- ①山梨大学・山梨県立大学のCOC+事業に関する調査。（県内すべての大学等が、「参加校」あるいは「協力校」として共通のCOC+教育プログラムを構築している。）
- ②「衣食農連携プラットフォーム」（東京農業大学で開催）出席。（第1次産業の6次化を実現するために有効な、衣食農が連携するプラットフォームづくりは不可欠であるが、その先進的取組等に関する情報収集。）

(2) について。

- ①「新価値創造展2016」（東京ビッグサイトで開催）出席。（中小企業基盤整備機構主催。農林業と製造業の連携に関する最先端の知見が得られた。）
- ②「邪魔者扱いの農（海）産物から新産業の勃興」（滋賀県草津で開催）出席。

(3) について

- ①「全国ネットワーク化事業 COC/COC+全国シンポジウム」（高知大学主催）出席。
- ②「九州・沖縄COC/COC+合同シンポジウム」（鹿児島大学主催）出席。
- ③「熊本発！震災復興フォーラム」及び「オール熊本発！シーズプレゼンテーション」（JST主催）出席。

上記以外のもも含めて、これらの研修によって得られた情報・知見は、熊本県におけるCOC+事業の計画立案、実施、評価等の際に活かされた。